

NITS戦略

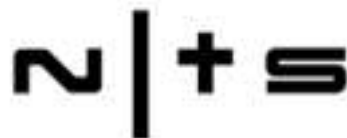
～新たな学びへ～

令和4年 7月

一部改定 令和5年12月

一部改定 令和6年 4月

一部改定 令和7年 4月



独立行政法人教職員支援機構

NITSは、中教審の提言を踏まえて、教職員の新たな学びを模索していきます。

本審議まとめの重要なメッセージの一つは、学びに専念する時間を確保した一人一人の教師が、自らの専門職性を高めていく営みであると自覚しながら、誇りを持って主体的に研修に打ち込むことができるという姿の実現を目指していくということである。教師と任命権者・服務監督権者・学校管理職等との積極的な対話を踏まえながら、任命権者等が提供する学びの機会と、教師自らが主体的に求めていく多様な主体が提供する学びとが相まって、**変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶ教師**が育っていく。

また、教師の学びの内容の多様性と、**自らの日々の経験や他者から学ぶといった「現場の経験」も含む学びのスタイルの多様性**を重視するということも重要なメッセージである。この観点からも、教師の個別最適な学びの実現のみならず、協働的な学びを実現していくことが必要である。今後、教師の資質能力の向上を広く図っていく観点からも、知識伝達型の学習コンテンツの充実はもとより、校内研修や授業研究といった日々の営みを磨き上げていくこと、教職大学院における学びなど、職務から離れて、大学教員や同級生とディスカッションしながら、課題を探究していく機会も同時に確保していくことが構想されていかなければならない。教師の**個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じて、「主体的・対話的で深い学び」を実現することは、児童生徒の学びのみならず、教師の学びにもまた求められている命題**であるといえる。

中央教育審議会 「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会

「『令和の日本型学校教育』を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて（審議まとめ）」

（令和3年11月15日）

NITS戦略（ミッション） ～新たな学びへ～



NITS戦略（取組） ～新たな学びへ～

■戦略1 新たな研修像の創出

研修デザインの
三角形

豊かな気付きが
醸成される学び

対面

リアルタイム・
オンライン

- ✓ 研修全体の「質」の向上
- ✓ 「探究型」研修の開発
- ✓ 研修のベストミックス

DX化による
研修の拠点強化

研修評価・改善
プロセスの質向上

自己の在り方を意識して
課題の本質に向き合う

オンデマンド

研修観の 転換

■戦略2 全国との「新たな学び」の共創

マネプロ
【NITS・全国
・地域】

- ✓ 研修マネジメント力の協働開発

- ✓ 「共通言語」の提案・共有

学び合いの
コミュニティ

「NITSからの
提案①」

- ✓ プラットフォームを通じた
全国の学びの支援

入門編、
教職員研修編

研修履歴
との連動

■戦略3 社会に開かれたNITS

民間との
コラボ

- ✓ 学校外の者との協働
- ✓ 「社会に開かれた教育課程」
へのサポート
- ✓ 「新たな学び」の情報発信

教員資格認定試験
の拡充

HP・SNSの充実

育成計画、メンター

NITSフェロー

対話の促進
PLC

風通しの良い
職場風土

※太字下線部はR7より追加

■戦略4 NITSの人材育成・組織づくり

- ✓ NITSを担う人材の育成
- ✓ 多様な人材が働きやすい組織づくり

NITS「教職員の学び協働開発部」について

変化を前向きに受け止め、探究心を持ちつつ自律的に学ぶ教職員の育成

研修観の転換



独立行政法人教職員支援機構

教職員の学び協働開発部

(「次世代型教職員研修開発センター」を発展的に改組)

◆「探究型」研修の開発

自己の在り方を意識して課題の本質に向き合う教職員の「探究」を後押しする研修
(コア研修・特定課題探究研修・教育行政リーダー研修)

◆研修全体の「質」の向上

参加者の姿を丁寧に想像、把握し、「研修目標」、「研修内容」、「研修方法」の3つの観点から研修をデザインすることで、参加者を主語にした研修へと転換

◆オンラインを活用した研修の充実

オンデマンド動画、プラットフォーム、研修のベストミックス
(対面、リアルタイム・オンライン、オンデマンド)を通じた全国の教職員の学びの支援

◆「学び合いのコミュニティ」形成支援 ※R7より追加

各地域における教職員研修が持続的に深まっていくことを目指し、NITSフェローを中心に、共創分散的に学び合うための「学び合いのコミュニティ」の醸成を後押し

NITS中央研修等への活用

